

## 2012年4月 日中語学研修・文化交流（国際交流ボランティア活動）報告

2012年5月 島貫清司

この活動も今回で第7回目（7年目）となるが、「継続は力なり」と言う言葉に励まされ今年も平成23年12月ごろから準備に入った。正直なところ平成24年2月1日の誕生日で73歳となったが、やはり身体の衰えを少なからず感じているところである。

今回の活動計画で特に重点を入れたのは参加者の若返りと中国の老人介護施設見学であった。若返りという面では、筆者を含めて大方の参加者は70歳を超えており、この活動を継続する為には7歳から10歳の若返りが必要と考えた。そこで目を付けたのは、NPO大阪府高齢者大学校（以下高大という）中国語・文化交流科の受講生である。早速高大の幹部にお願いし、2月1日に高大中国語・文化交流学科の教室へ出向き活動の趣旨説明会を実施した。反応は早くその場で女性2名、1週間内に男性・女性それぞれ1名計4名の参加申し込みがあった。（4名の平均年齢は70.5歳）

老人介護施設見学については昨年、天津市老年人大学で知り合いになった金暁雲様の紹介で天津泰達国際養老院を見学する事が出来たと思う。

今回のもう一つの特徴は、参加者全員に役割分担をしてもらった事である。例えば、「現地共通費会計処理担当」、「ホテルとの交渉窓口処理担当」、「各大学での交流内容検討と進行担当」等である。これら役割分担をする事により、参加意識の向上と各大学の窓口担当の先生との緊密化、中国語の実用会話練習など良い経験が出来た。

相当過密な活動計画であったが、参加者全員の絶大なる協力と団結により無事計画を実施できた事を嬉しく思う。

### [交流日程]

| 日  | 曜 | 午前  | 午後                       | 夜          |
|----|---|---|--------------------------|------------|
| 17 | 火 | 乗船手続 14:30~15:30 燕京号 (2243 便) 20:00 神戸港発  |                          | 船内泊        |
| 18 | 水 | 船内交流と交流準備 (コーラス、オカリナ練習、操舵室見学)   |                          | 船内泊        |
| 19 | 木 | 中国語研修、水餃子作り実習、麻雀・卓球、カラオケなど)   |                          | 船内泊        |
| 20 | 金 | 8:30 天津港着下船ホテルへ   | 途中「天津泰達国際養老院」見学          | 夕食会 ホテル泊   |
| 21 | 土 | 市内散策 (天津職業大生と古文化街)  | 天津職業大学学生との交流             | 夕食交流会 ホテル泊 |
| 22 | 日 | 市内散策 (周恩来記念館、水上公園)  | 天津市老年人大学学生との交流           | ホテル泊       |
| 23 | 月 | 天津師範大学との交流 (10:00~9 班)  | (14:00~8 班) (16:00~10 班) | 夕食交流会ホテル泊  |
| 24 | 火 | 天津東方老人大学見学交流  | 天津市老年人大学見学交流             | ホテル泊       |
| 25 | 水 | 天津中医薬大学内で中国語研修  | 天津中医薬大学との学内交流            | 夕食交流会 ホテル泊 |
| 26 | 木 | 市内散策 (南市食品街、和平通り)   | お土産品買い物 帰国準備             | ホテル泊       |
| 27 | 金 | 航空機組 4 名 北京空港へ CA161 便 14:25 北京発 20:30 関空着 解散帰路へ<br>船組 7 名 天津港へ 乗船手続 15:00~ 燕京号 (2246 便) 20:00 天津港発 |                          | 船内泊        |
| 28 | 土 | 船内交流 (日本への研修生との交流など)  |                          | 船内泊        |
| 29 | 日 | 下船準備手荷物整理   |                          | 船内泊        |
| 30 | 月 | 燕京号 9:00 神戸港着下船   | 解散帰路へ                    |            |

### [交流目的]

1. 海外における国際交流活動の実践。
2. 過去から受けた中国文明の伝来や、過去に与えた戦争侵略の傷に対し、この交流を通して少

しでも恩返しをし、民間ベースでの草の根外交を実践する。

#### [交流内容]

1. 新聞折り込み広告チラシによる日本の生活実態紹介。
2. 日本の年間行事の紹介。(主にお正月の行事習慣について)
3. 折り紙、風車作りの実演やあやとり遊びの照会。
4. 着物の着付け 実演。
5. マジック、コーラス、フラダンス、河内音頭、葦笛、オカリナ、ハーモニカなどの披露と演奏。
6. ビンゴゲーム
7. 巻き寿司、稲荷寿司の作り方実演と試食。
8. 絵手紙の指導と実践。
9. 中国語と日本語の相互学習。

#### [寄贈品]

1. 品名：日本地図（今がわかる時代がわかる 2012）
2. 寄贈先：天津師範大学、天津中医薬大学、天津市老年人大学

#### [参加者]

永井 俊雄、福岡政子、島貫 清司 (SA 修了者)、楞野信子、中村悦子、中村忠良 (福祉ボランティア)、松丸雅亮、荒川弘子、大澤東亜子、峯川邦子 (高大中国語・文化交流科修了者)、中西幸男 (日本語指導ボランティア) 以上 11 名

#### [お世話になった方々]

|       |  |
|-------|--|
| 金 暁雲様 | 天津泰達国際養老院、天津市老年人大学、天津東方老人大学を紹介案内頂いた。         |
| 大澤尚史様 | 天津職業大学 日本語教師                                 |
| 小山俊彦様 | 天津師範大学 日本語教師                                 |
| 柴山周乃様 | 天津中医薬大学 日本語教師 (内科医学博士)                       |
| 清水香織様 | 天津市老年人大学 日本語教師                               |
| 張 麗妹様 | 天津師範大学 日本語学科 4 年生 (H24 年 9 月から立命館大学大学院に留学予定) |
| 林 瑞峰様 | 天津港～天津金橋国際賓館～北京国際空港 貨客輸送                     |

#### [交流記]

4 月 17 日 (火) 晴れ

神戸ポートライナー三宮駅で午後 2 時に集合し神戸港へ。先に神戸港に直行した荒川氏を除いて 10 名全員そろってポートターミナルへ。ポートターミナル駅のエスカレーターが上り専用運転となっていた為、下り専用に変更してもらった。昨年の 7 月ごろから神戸・天津間の船 (燕京号) のダイヤが改正されていた。神戸港発は毎週火曜日で、乗船手続は 14 時半開始後税関手続検査を終えて 20 時出航し天津港には金曜日の 7 時半に到着する。天津港発は毎週金曜日で、乗船手続は 15 時開始後税関手続検査を終



えて 20 時出航し、翌日土曜日の 13 時に山東省の石島に立ち寄り貨物を積んで 18 時に神戸に向けて出航する。神戸港には月曜日の 8 時に到着する。

この日は税関手続き検査が終了し乗船後 16 時半には神戸港を出港した。乗船客は団体観光客が多く約 180 人でこのうち日本人は 20 人とのこと。（この船の定員は 400 人）

船内に入り予め決めていた部屋割りで各船室に手荷物を置いたが、先に船会社と約束していた部屋割りと違ったので客船主任を呼んで船室変更の申し入れをし、やっと約束通りの船室に各人が落ち着いた。7 時から船内レストランで全員揃って夕食を取る。去年から料理の値段が高くなり、ごはん、おかず 2 品、スープで大体 800 円～900 円である。しかしビールは 200 円と安い。免税店でたばこ（ピース）1 カートン 3,500 円を 2 カートン買う。

（乗船代：片道 17,200 円、往復 29,400 円、海外旅行保険代：10,370 円）

#### 4 月 18 日（水）晴れ

朝食休憩後カラオケルームでコーラスの練習をする。午後 2 時から中国語講座（講師は船内女子乗務員の苑麗莎さん）を受講、自己紹介を中国語で出来るようみんな努力した。14 時から緊急避難



訓練が始まった。乗客全員避難具を着けて甲板に避難し注意事項を受ける。15 時半ごろからレストランで水餃子づくりの講習を受けた。これらは夕食の一品となった。夕食後船底の風呂に入り身を休めた。

20 時から 21 時半レストランにて乗船客の為に、夜の親睦会が催され、我々はオカリナ演奏、ハーモニカ演奏、フラダンス等で出演し大好評を得た。

#### 4 月 19 日（木）晴れ

操舵室見学、コーラス練習、絵手紙製作実習などで結構忙しくあつという間の 3 日間であった。荒川氏船酔いで顔色が悪いが本人は大丈夫という。甲板にてフラダンスの練習もした。

午後 15 時から船内両替（10,000 円＝730 元、1 元＝13.7 円）始まる。往復船組は 40,000 円（2,920 元）、帰り飛行機組は 70,000 円を両替する。



#### 4 月 20 日（金）曇り後晴れ

朝食は 7 時からレストラン前で蒸しパンを 2 個くれた。9 時下船、林瑞峰氏差向けの 2 台の車に分乗した。（車代 500 元）その足で天津泰達国際養老院見学し院内の食堂で昼食をした。金暁雲氏は、既に養老院に来ていて我々を出迎えてくれた。養老院では入所者の方々の大歓迎を受け中国の



歌を唄ってくれた。ここには夫婦で入所している方々も有り大変綺麗で清潔感のある施設である。入所費用は、平均で月 5 万円くらいとのこと。その後天津金橋国際賓館に 2 時半到着。林瑞峰さん（筆者の中国語の先生の旦那さん）からドライビール 1 ダース、アイスワイン 2 本、葡萄欄 2 本、白酒 2 本を差し入れとして持って来てくれた。チェックイン時、押金（保証金）を 910 元払う。天津職業大学の 大澤先生が翌日の交流会打ち合わせと帰りの航

空券を持って来てくれた。ホテルで夕食時、侯芳芳（京都精華大学大学院留学生でここ数年日本語

を教えている)のお母さんがホテルへ訪ねて来てくれた。大きなスイカ2個とリンゴ15個を差し入れてくれた。夕食後、明日のバス代に元札が要るのでホテル近くのデパートへ皆で買い物に行き、それぞれ1元札を求めていた。筆者は交換の為靴下を5円で買う。

明日から天津での生活が始まるが、筆者の負担軽減と担当者の勉強の為、ホテル折衝窓口担当は中西、大澤両氏、現地共通費会計は楞野、峯川両氏にお願いした。中西氏は早速その夜からホテルへの苦情申し込みが始まったようだ。

#### 4月21日(土)曇り

天津職業大学学生31人(大澤先生含む)10時ホテルへくる。ホテルロビーにて紹介後バスで移動し、天津東北角の新世界地下で昼食後古文化街散策、16時からホテルに戻りホテルレストランで交流と夕食会。当日は17時から教育界の幹部が集まり宴会が有るので賑やかな交流会は出来ないとのことで、早めに交流会をし、その後夕食会をした。従ってかなり照明や音楽も抑えた雰囲気となった。気に入らないのは16時から18時までの会場費200



元を取られたこと。(600元のところ200元に値切る)でも学生達はここ2カ月ぐらい前から準備と練習をして、私達に8演目(松たか子の歌「花のように」、ショトコント「チャウチャウ」、ショーコント「関西弁で告白」、中島美雪の歌「ルーージュ」、コント「研修生」、いきものがかりの歌「エール」、コント「現代版シンデレラ」、歌「六甲おろし)もの出し物を熱心してくれた。食事会も各グループに分かれ大いに盛り上がったが、巻き寿司の実演が出来なかった事が心残りであった。

#### 4月22日(日)晴れ

午前中水上公園と周恩来記念館へ。水上公園では、休日とあって家族連れや恋人同士が多く集まり、いたるところでダンスや京劇の歌等パフォーマンスを披露していた。中国では珍しい回転式観覧車に乗る。周恩来記念館で休憩していたところ、天津外国語大学国際交流センター中華レストランに勤務している「劉宏吉」氏が話しかけてきた。良かったら次回是非来て欲しいとの事であった。ホテルのレストランで昼食後タクシーにて天津市老年大学へ。天津市老年大学日本語学科生徒



と懇親、担当は松丸、大澤、荒川の三氏。絵手紙、コーラス、日本の季節ごとの行事等を披露した。この交流で「丁国柱」さん(68歳、日本語会話コース)が「中日協力プロジェクトとして、天津医科大学代謝病院建設に関し日本糖尿病専門医師団との医学技術交流の成果報告を流暢な日本語で説明された。(1993年着工し1995年竣工1998年から診察開始。)

「天津医科大学代謝病院は中日両国政府間の友好の結晶である。病院の医療技術は益々向上し大勢の患者たちに高く評価されている。近年糖尿病の発生率は年々上がり、外来患者数は1998年には約1万人から2008年には42万人に達した。入院患者数も1998年の283人から2009年には4,392人の達し、病室の使用率は108.4%になっている。今後第12次5カ年計画(2011~2015)の間に技術革新をし更なる医療技術の向上と医療設備の充実を図っていく。(成果報告からの抜粋)」

帰りは、日本語科生徒の一人がタクシー乃運転士をしているとのことで、彼の車でホテル迄送ってくれた。夜は、天津では有名な「天津百餃園」にて思う存分本場の中華料理を楽しんだ。

4月23日（月）曇り後晴れ

天津師範大学との交流、担当は中村ご夫妻。8時張麗妹ホテルへ来る、タクシー3台に分乗して大学へ向かう。途中交通渋滞があったが約35分ぐらいで到着。昼食は学生食堂で取る。学生食堂での昼食に期待したがプリペイドカードで学生の数が多く又料理名と内容がよく解らない事などで期待外れであった。その後、松丸・永井両氏校内で迷子になるが女子学生に助けられ無事に教室に戻る。



交流会は中村ご夫妻の意気の合った進行で学生達も大いに盛り上がった。特に絵手紙の実習では素晴らしい内容であった。ただ、今日の交流会は2年生3班（1班30名）を午前と午後で3コマ



を、同じ内容でこなさなければならずご夫妻は相当お疲れになったと思う。しかし皆で応援し助け合い無事3コマをやり終えた。夜は大学近くのレストラン（大学時代）で夜の交流会を開催。ここで初めての巻き寿司と稲荷寿司の製作実演をしたが学生も加わり大盛況であった。その後、マジック、歌、オカリナ演奏、フラダンス等を披露し大いに交流で来た。中でもフラダンスは「瀬戸の花嫁」の曲に合わせて学生も入って楽しんだ。なんと小山先生も衣装を着けてフラダンスを学生と一緒に踊って下さった。名残惜しく学生達に見送られてタクシーでホテルへ帰る。

4月24日（火）大雨

金さん9時にホテルへ来る。午前中天津東方老人大学訪問、この老人大学は元々女性専門の老人大学で会ったが、数年前から幼稚園と同居し子供と交流しながら総合老人大学となったとの事。大学内を見学中太極拳の教室で「吉田広美」という人が声をかけてきた。この方は、主人が天津の日本企業に勤めているとの事。（授業料は1年間700元）



午後天津市老年大学訪問。ここは流石に天津市第一の規模を誇る老人大学で、学生数は約2万人、講座数は約500科目と名実ともに総合老人大学である。特に中国伝統の芸術・芸能のみならずIT方面の学習も盛んである。（授業料1年間200元）帰りはタクシーが中々見つからず、バスにて



帰るが水上公園前で下車、ずぶ濡れでホテルまで帰った。夕食はホテル近くの韓国料理屋（又一居 韓式烧烤店）で食事。昼間休憩時、中村忠良氏が大雨の中コンビニへ買い物に出かけ、天津師範大学の女子学生にすごく世話になったと感激。

帰国後この両老人大学のホームページをみると両行とも我々の訪問についての記事・写真を掲載していた。

4月25日（水）晴れ

天津中医薬大学へバスで移動。担当は中西、峯川両氏。学生の出迎えを受けて国際交流学院7階の教室へ案内され中国語講座を受ける。中国語の講師は「張麗」先生で、既に10年勤務している。

数年前1年間ほど神戸市三宮にある「東洋医療学院」で中国語の講座を受け持っていたとのこと。天津市の概況について詳しくパワーポイントにて殆ど中国語で説明して頂いた。

昼食は大学内にある天中賓館のレストランの一室で取った。メニューを見ると皆美味しそうなので一品の量も分からず注文したが、特に大盛りの餡かけうどんは結局食べきれず残念な事をした。しかしその中でも3種類の焼飯の中で一つだけ本当においしいものがあった。(少し黒ずんだ色をしていた)



昼食後、再び午前中と同じ教室にて交流会を開催する。先ず大学側の希望もあってグループ別フリートーキングを開始した。その後各グループの代表が感想を述べた。皆よく内容を要約し時間内に流暢な日本語で感想を述べていたのには感心した。その後教室のレイアウトを変更し、いよいよ夜の懇親会へとはいって行った。今回の交流もこの大学が最後ということで、今

まで実施していない内容を全てやろうと言うことで企画された。巻き寿司、稲荷寿司の実演、風車の製作、あやとり、着物の着付け、ビンゴゲーム、剣玉、福笑い、河内音頭等等、盛り沢山の出し物となった。学生からは、太極拳武術2式が披露された。この大学に留学している日本人鍼灸師「金崎正憲」君と交流会で出会う。4年間で中国語と本場の鍼灸・按摩をマスターしたいとの事である。来年も交流をする時は一緒に活動を応援したいと申し入れてくれた。

帰りはバスで帰る。学生がバス停迄見送りに来てくれた。



#### 4月26日(木) 快晴

朝7時半ごろ、天津師範大学の小山先生が峯川さんのノートパソコン(天津師範大学の夜の交流会時に置き忘れたもの)を届けてくれた。ホテルのレストランと一緒に朝食を取る。小山先生は京都桂にお住まいで年に4回位自宅に帰るとのこと。また大の阪神ファンである。



午前中南市食品街、狗不理の肉まんを食べる。その後和平通り、濱江通りを得て海光寺の家樂福へお土産を買いに行く。夕方から天津TV塔にのぼり夜景を見る。夜は韓国料理屋でサヨナラパーティをする。

#### 4月27日(金) 晴れ

朝大澤先生がホテル迄見送りに来てくれた。飛行機組4人は9時に林瑞峰氏差向けの乗用車でホテルを出発。(車代800元)船組は10時に天津港に向けて出発。(車代300元)塘沽市内で昼食(福建小料理店)を取る。昼食代約120元を運転手(鄭建忠さん)が出してくれた。現金を渡しても受け取らないので、港に着いてからチョコレートと海苔を渡した。



15時から乗船手続と税関検査・手続終了後乗船する。乗船客は約260人、内日本人は11名とのこと。(港湾使用料30元支払う)河北省滄県「滄州外経」(人材派遣会社)の研修生60名(香川県

魚加工研修)、福井県への研修生約 10 名と同乗する。全員 20 歳代の女性で大変賑やかである。

#### 4 月 28 日 (土) 曇り

11 時 30 分石島港へ着、18 時 30 分石島発。20 時から夜の親睦会有り。香川県へ研修に行く研修



生の歌やダンスのパフォーマンスが続き大いににぎわった。私達も負けずにマジック、男声合唱(サンタルチア)、葦笛・ハーモニカ演奏、フラダンス披露し大好評。特にフラダンスについては研修生の引率責任者から研修生への指導依頼が来るほど好評であった。峯川様引っ張りだこ。また、この人材派遣会社から日本語講師の赴任要請も受けた。石島港では多くの貨物を積み込んでいた。

#### 4 月 29 日 (日) 曇り

峯川さん研修生にフラダンスを指導で多忙。中村氏ハーモニカで「瀬戸の花嫁」を研修生に特訓していた。

船内両替(820 元=10,000 円)を日本に入国する中国人に対して行っていた。



#### 4 月 30 日 (月) 曇り



9 時 15 分神戸港へ接岸、10 時 50 分下船。石島からの貨物が多いからか船着き場は貨物で一杯で下船はいつものタラップ方式ではなく、船底の貨物室から行い手荷物は全てジブクレーンで下し税関まで運んでくれた。手荷物の運搬に手間取り、税関検査完了は 11 時であった。早く三宮のキツネうどんが食べたい。自宅には 14 時頃到着、その後風呂に入りゆっくりと休養を取った。

2012 年 4 月 30 日 第 7 回日中語学研修・文化交流(国際ボランティア活動) 無事終了!!

#### [感想]

1. 今回初めて中国の高級老人ホームを見て、自分も入りたいなと思った。
2. 初めて中国の老人大学の現場に入り見学する事が出来た。老人たちの生涯学習への意欲を強く感じた。
3. 今回お世話になった天津市老年大学の清水香織先生、天津師範大学の小山俊彦先生、天津中医薬大学の柴山周乃先生方には去年お会いしたばかりにも拘らず本当によくして頂き、心から感謝申し上げたい。また、天津老人年大学学生の金暁雲さんにも一方ならぬお世話になった。
4. 参加者全員に役割分担をお願いし、これに十分応えて頂きました事に関し謝意を表します。この事が今後の活動に役立つ事を期待する。
5. 今年ほど往復の船内交流活動が活発だったのは初めてである。やはり日中交流に興味を持った方々ばかりであったからだと思う。